

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シャシ点検分解組立 調整検査 1	橋本 純也	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	18	前期	必修
授業の概要	分解組立作業により、構造・作動原理を理解し、分解組立作業により技術力・点検方法を修得する。						
授業の進め方	教科書を参考に、実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。						
到達目標	ホイール・アライメントに関する名称・役割を説明できるようになる。また、測定作業ができるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 9	ホイールアライメントについて	1. フロント・ホイール・アライメント 1) フロント・ホイール・アライメントの必要性を理解する。 2) キャンバの位置と役割を理解する。 3) キング・ピン傾角の位置と役割を理解する。 4) キャスタの位置と役割を理解する。 5) トーの位置と役割を理解する。					
10 ～ 15	ホイールアライメント 測定作業	1. フロント・ホイール・アライメントの測定作業 1) 測定器具の使用方法を理解する。 2) 測定前の点検要領を理解する。 3) 測定作業ができるようになる。					
16 ～ 18	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	教科書: 全国自動車大学校・整備専門学校協会 「シャシ構造 I」 関係資料(プリント)						
アドバイス	学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シヤン点検分解組立 調整検査 2	橋本 純也	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	18	前期	必修
授業の概要	分解組立作業により、油圧式パワー・ステアリング装置の構造・作動原理を学ぶ。						
授業の進め方	教科書を参考に、実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。						
到達目標	油圧式パワー・ステアリングに関する名称・役割を理解し、作動について説明できるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 3	油圧式パワー・ステアリング	パワーステアリング装置の仕組みについて理解する。					
4 ～ 6	油圧式パワー・ステアリング	各部装置と役割について理解する。					
7 ～ 9	油圧式パワー・ステアリング	分解組立要領について理解する。					
10 ～ 15	油圧式パワー・ステアリング	フルードの特性と油量の点検方法を理解し、 エア抜き作業ができるようになる。					
16 ～ 18	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	教科書:日本自動車整備振興会連合会「二級自動車整備士(総合)」 関係資料(プリント)						
アドバイス	学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シヤン点検分解組立 調整検査 3	橋本 純也	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	21	前期	必修
授業の概要	大型車のトランスミッションおよびCVTの構造について分解・組立を通して学ぶ。						
授業の進め方	教科書を参考に、実際の部品を確認しながら分解組立作業を行う。						
到達目標	乗用車と大型車のトランスミッションの違いと特色を知る。また、CVTの分解をとおして作動原理を理解し、それらを構成する部品の名称・役割を説明できるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1	大型車	ミッションの分解組立手順について理解する。					
2	マニュアル・トランスミッション						
3	大型車	分解組立を通して、動力の伝達経路を理解する。					
4	マニュアル・トランスミッション						
5	大型車	分解作業過程中、使用する特殊工具の種類と使い方を理解する。					
6	マニュアル・トランスミッション						
7	大型車	トランスミッションの構造・構成部品・役割を理解する。					
8	マニュアル・トランスミッション						
9	大型車	トランスミッションの作動と点検法について理解する。					
10	マニュアル・トランスミッション						
11	大型車	シンクロメッシュ機構の作動と点検方法について理解する。					
12	マニュアル・トランスミッション						
13	CVT	CVTの分解・組み立てを通して、内部構造を確認し作動を理解する。					
14	(無段変速式AT)						
15 ～ 18	CVT (無段変速式AT)	CVTの各部品の名称役割を理解する。					
19 ～ 21	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	教科書: 日本自動車整備振興会連合会 「二級自動車整備士(総合)」 関係資料(プリント)						
アドバイス	学科又は教科書により、事前に作動を理解しておくことで、理解しやすくなります。						

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	シャシ点検 分解組立調整検査 4	全教員	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	2	58	通年	必修
授業の概要	実動車を使用し、シャシ部品等の点検・分解・組立・調整・検査を行う。						
授業の進め方	各班ローテーションにて、教習車や教材車の点検整備等を行い、必要に応じた整備作業を実施する。						
到達目標	就職後の企業にて即戦力として働けるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 ～ 55	応用点検実習	<p>様々な教材車を使用し、実動車の点検・整備ができるようになるための実習を行う。</p> <p>自動車学校にて実動している様々な教習車の点検等を実施し、消耗品や不具合部品の発見を行う。</p> <p>必要に応じて部品の交換・調整を行い、安全に走行できる状態へと修復する。</p> <p>必要に応じて車両の検査を行い、安全に走行できる状態であることを確認する。</p>					
56 ～ 58	実技試験						
成績評価方法	実技試験・80点、平常点・20点(※レポート提出、受講態度、小テストなども含む)						
教科書・配布物	必要に応じた資料を配布する。						
アドバイス	就職して即戦力となるように努力してください。また、安全作業を徹底し正しい作業方法を身につけてください。						